

第 13 回 LCV「諏訪圏情報 BOX」

- 放送日 令和8年1月6日(火)、1月13日(火)
- テーマ 「冬の観光、ご安全に！」
- 出演者 諏訪地域振興局商工観光課 振興係 馬場 映輔
諏訪地域振興局商工観光課 振興係 窪田 浩美

○聞き手とのやりとり (概要)

(Q) 寒くなってきましたね。本日は諏訪の多くの方が気になる御神渡りや冬のレジャーであるスキーの注意事項、冬山登山での注意事項についてお聞きします。まず、私たちお諏訪人が気になるのは御神渡り。今年も八剱神社の方々により湖面観察が行われます。御神渡りについて長野県諏訪地域振興局商工観光課の窪田さん教えてください。

(A) はい。諏訪の皆さんご存じかと思いますが、零下10度以下の日が数日続くと、諏訪湖は全面結氷します。そして、昼と夜との温度差によって、氷の膨張収縮が繰り返され、南の岸から北の岸へかけて氷が裂け、高さ30cmから1m80cm位の氷の山脈ができます。これが「御神渡り」です。諏訪大社上社の男神が下社の女神のもとへ通われた道筋とされ、「神様がお渡りになった跡」というのも納得できる、大変厳(おごそ)かな自然現象です。

(Q) そうなのですね、結氷した氷に乗ってみたいと思う方もいるかもしれませんが、湖上の氷に乗ることは大変危険だと聞いたことがあります。

(A) 氷上は場所によって薄い部分があり、氷に乗ることは諏訪湖への転落事故の恐れがあるため大変危険です。また御神渡りが起きない年でも、結氷部分に立ち入るような行為は、も同様に危険ですのでおやめください。

(Q) ありがとうございます。諏訪湖の御神渡りについてお聞きさせていただきましたが、そのほかに、寒い季節ならではの楽しみ方と言えばスキーやスケートです。特にスキーでは注意しなければいけ

ないこともあるとお聞きしました。

(A) 特に注意していただきたいのがバックカントリースキーです。諏訪地域でもバックカントリースキーを楽しめる場所がありますが、注意すべき点がいくつもあります。長野県内では道迷い・行動不能による遭難、立木への衝突・転倒による遭難、窒息による遭難、雪崩による遭難など様々な事故が発生しております。通常のゲレンデスキーに比べてリスクが高く、救助する側にとっても困難なものとなります。遭難した場合、自分だけではなく残された家族も悲しい思いをするので、安易にバックカントリーに飛び出すことなく、事前準備を徹底したうえで行うようにしてください。

(Q) 子どもさんのエリアでも事故が起きる可能性はゼロではないとお聞きしました。

(A) 県内では昨年2月に北信地区において動く歩道から降りる際に転倒し、フードが巻き込まれたことで、児童が一時意識不明となる事故が発生しました。子供が楽しめるエリアにも多くの危険が潜んでいます。楽しい時間を楽しかった思い出として残せるように、お子様を連れてスキー場に来る際は、保護者の方が必ず目を離さないように見守り、安全確認を徹底して遊ぶようにしましょう。

(Q) 長野県ではどのような対策を行っていますか？

(A) 長野県では冬山、バックカントリーを楽しむ方向けにホームページで注意喚起するとともにスキー場に啓発用ツールを配布するなどして対策を行っています。ホームページには冬山の情報やバックカントリーで遭難しないための厳守事項などを記載していますので、今一度確認をし、万全の準備をして入山するようにしてください。

(Q) このほかに冬山登山をされる方もいますね。

(A) 八ヶ岳はアクセスがやすく、通年で営業している山小屋もあり、初心者から上級者と幅広い層の方に人気となっています。

(Q) 人気があるといっても、事故のリスクが無いというわけでは

ないですね。

(A) 具体的には、道迷いや雪崩による遭難、滑落、凍傷、アイゼンをひっかけての転倒、アイスクライミング中の転落など、冬山ならではの事故が多く発生しており死亡者も出ている状況です。

(Q) リスナーの皆さんは具体的にどのようなことに気を付ければよいのでしょうか？

(A) 事故の防止策として、まずは事前準備を徹底してください。天気やルートを把握し自分の体力や経験に見合ったゆとりのある登山計画を立てること、登山計画書を必ず提出すること、防寒着や食料の準備などがあげられます。

冬山ならではの対策として、特に南八ヶ岳は12本爪のアイゼン・ピッケル・ヘルメットが必要です。また八ヶ岳は気温が非常に低いため、スマートフォンを操作する際はタッチペンを使用する等手袋を外さない工夫をしてください。

(Q) 長野県ではどのようなことをしていますか。

(A) 長野県としてはポスターやチラシの配布といった啓発業務に加えて、相談所の開設などを行っています。12月30日火曜日に1度目の相談所を開設しており、登山計画書の提出の呼びかけや登山計画への助言、装備品の指導などを実施しました。1月10日土曜日に美濃戸口登山口と天狗岳登山口、2月21日土曜日と3月20日金曜日に美濃戸口登山口でも冬山相談所を開設し遭難防止を呼び掛ける予定です。

最後にはなりますが、登山計画書は必ず提出するようにしてください。事前準備を徹底しても遭難のリスクはゼロではありません。万が一遭難した際に、すぐに救助活動ができるようにご協力をお願いします。長野県では個人情報の保護と迅速な救助活動につなげるため、オンラインによる届出を推奨していますので、よろしくをお願いします。

(Q) 分かりました。年が明けて最も寒い時期になりましたが、今日

は諏訪湖の結氷時やスキー場での事故防止、冬山遭難対策についてお話いただきました。本日はありがとうございました。